

TOTO

洗面化粧台

LDFA075・090・100・120型

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1) 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	○は、してはいけない「禁止」内容です。		●は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	---------------------	--	------------------------

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

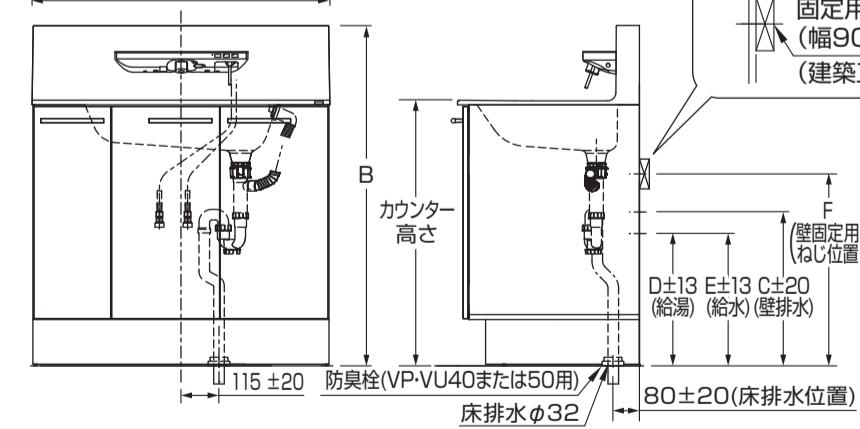
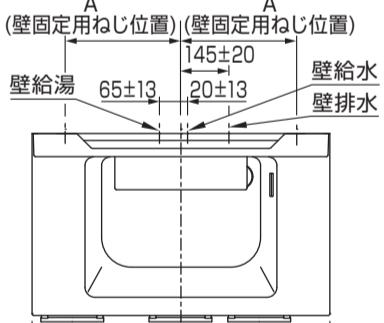
警告	
浴室など湿気の多い場所へ設置しない 漏電により感電するおそれがあります。	水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う火災や感電および水漏れの原因になります。

警告	
電源はAC100Vを使用する AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。	壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。
必ず実行	必ず実行
注意	
湯・水を逆に配管しない 水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。	浴室など湿気の多い場所へ設置しない 木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。
禁止	禁止
取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する 使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う 凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。
必ず実行	必ず実行
取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する 水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。	取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する 水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。
必ず実行	必ず実行

2) 設置寸法

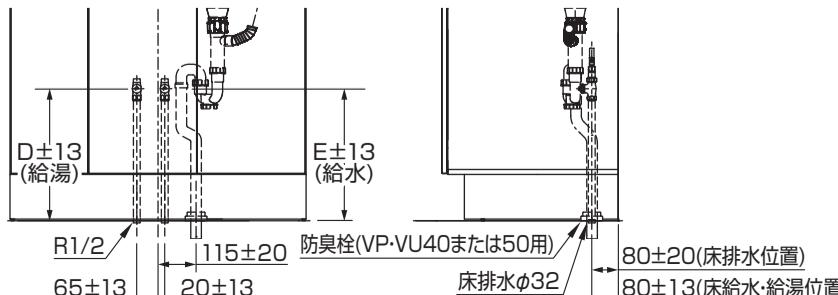
- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 壁排水管は付属していないので、必要な場合は別売品のL095をご購入ください。
- 止水栓は付属していないので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。

【壁給水の場合】



【床給水・樹脂配管の場合】

- 樹脂配管をご使用の場合は、TSAS4BJZAをご購入ください。



カウンター高さ	オプションあり/なし					
	B	C	なし	きれい除菌水	自動水栓	きれい除菌水+自動水栓
750	980	415	350	350	300	300
800	1030	465	400	400	350	350
850(台輪仕様)	1080	515	450	450	400	400

カウンター高さ	オプションあり/なし	止水栓品番		数量
		なし	きれい除菌水	
750	なし	LTL4D13U	LTL4D13U	2個
	きれい除菌水	LTL4D14U	LTL4D14U	各1個
	自動水栓	LTL4D14U	LTL4D14U	2個
	きれい除菌水+自動水栓	LTL4D14U	LTL4D15U	各1個
800	なし	LTL4D12U	LTL4D12U	2個
	きれい除菌水	LTL4D13U	LTL4D13U	各1個
	自動水栓	LTL4D13U	LTL4D13U	2個
	きれい除菌水+自動水栓	LTL4D13U	LTL4D14U	各1個
850(台輪仕様)	なし	LTL4D11U	LTL4D11U	2個
	きれい除菌水	LTL4D12U	LTL4D12U	各1個
	自動水栓	LTL4D12U	LTL4D12U	2個
	きれい除菌水+自動水栓	LTL4D12U	LTL4D13U	各1個

3) 付属部品明細

名 称	数 量
1 排水トラップ	1セット
2 給水ふた(めっき管用)	2個
3 排水ふた(Φ32用)	1個
4 防臭栓	1個
5 壁固定用ねじ(Φ5.2×55)	3本
6 取扱説明書セット	1セット
7 水受けトレイ	1個
8 底板化粧用ねじ(Φ3.5×12)	4本

4) 使用条件

- 水栓ユニット・水栓金具・機器類などに付属の専用施工説明書をご参照ください。

5) 取り付け条件

警告

キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れる
木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。(建築工事)

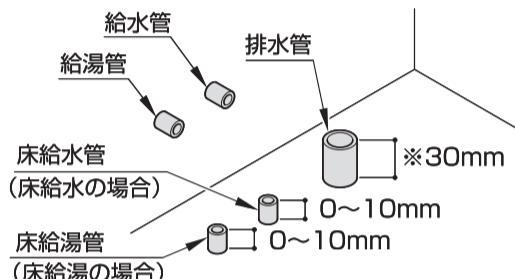
必ず実行

コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、
壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち
込んでおいてください。
プラグは壁固定用ねじにあわせて現場にて準備してください。
(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

キャビネットが落下しけがをするおそれがあります。

- 洗面化粧台を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。
- 給水管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立上げてください。
(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。)
- 三方壁に設置する場合は、商品開口に対して片側5mm以上のクリアランスを確保して、
ください。更に、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコーン系シール材で
シールしてください。



※電気温水器をセットする場合は、
100mmで立ち上げてください。
※台輪付の場合は150mmで立
ち上げてください。
(電気温水器を併設する場合も
同一です。)

6) 洗面化粧台を取り付ける前に

確認1 台輪付ですか?

→ 洗面化粧台と台輪をセットしてください。

※取り付け要領は台輪の組立・設置説明書をご参考ください。

7) 取り付け手順(番号順に取り付けてください。)

- 化粧台をひきずらないでください。

1 キャビネットの引き出しを外す

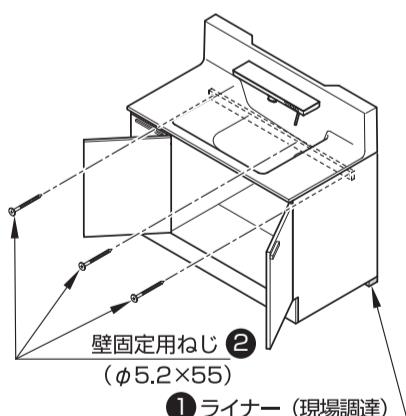
- 取り付け完了後、元に戻してください。
(引き出しの取り外しかた・取り付けかたは、9)取り付け完了後の確認と清掃をご参考ください。)

2 給・排水穴の穴あけ

- 給水・排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴、排水穴(Φ50)を
穴あけしてください。

3 化粧台の取り付け

- 商品を水平・垂直になるように取り付けて
ください。
(床・壁面にゆがみがある場合は、ライナー
(現場調達)を入れて調整してください。)
- 付属の壁固定用ねじ(3本)で壁に確実に
固定してください。

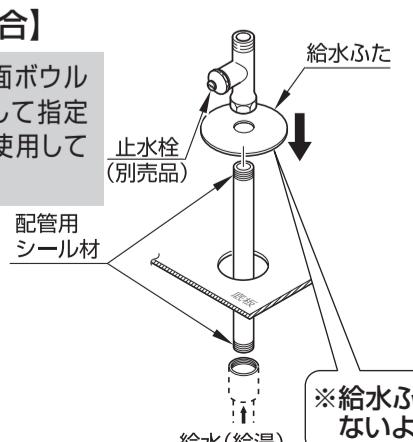


4 止水栓の取り付け

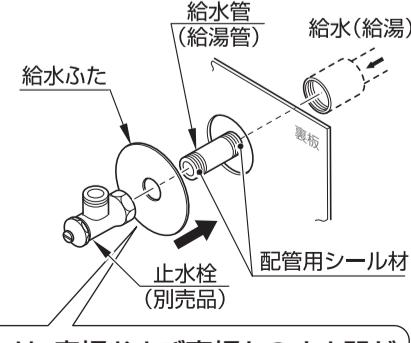
- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。
- 樹脂配管対応はTSAS4BJZAに付属の施工説明書をご参考ください。

【床給水の場合】

※止水栓は洗面ボウル
高さを確認して指定
の止水栓を使用して
ください。



【壁給水の場合】



確認2 体重計収納付きですか?

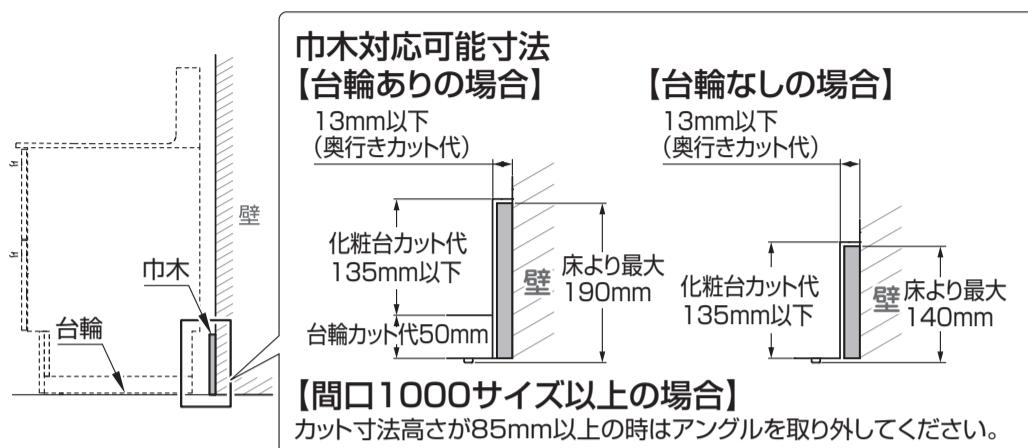
→ 洗面化粧台を設置する前にこみ部をカットしてください。

※カット要領は体重計収納に付属の組立・設置説明書をご参考ください。

※台輪付の場合、取り付けできません。

確認3 後壁に巾木はありますか?

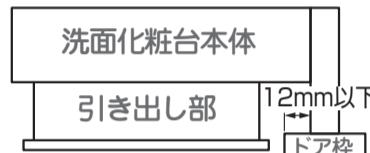
→ 壁に巾木がある場合は、下記寸法以下であれば
洗面化粧台後部及び台輪後部をカットできます。



確認4 洗面化粧台はドア枠対応商品ですか?

→ ドア枠対応商品の場合、ドア枠
の出幅を確認してください。

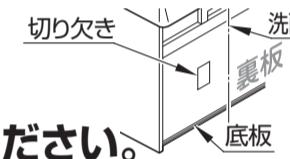
※12mm以下になっているか確認ください。



確認5 魔法びん電気即湯器を取り付けますか?

→ 取り付ける場合は、アースターミナル付きコンセント
が必要です。必要に応じて裏板を切り欠いてください。

※壁付コンセントの位置を確認した後、
コンセントと裏板の切り欠きが合う
ように裏板を切り欠いてください。



→ 取り付け要領を確認してください。

※取り付け要領は各商品に付属の施工説明書をご参考ください。

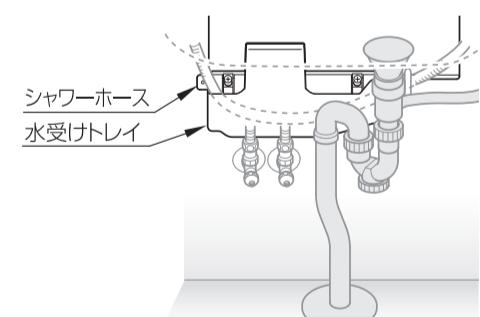
5) 水栓ユニットの取り付けと給水・給湯の接続

- 取り付けは、化粧台を壁固定した後に行ってください。

※取り付けについては、水栓ユニットに付属の組立・設置説明書をご参考ください。

6) 水受けトレイの取り付け

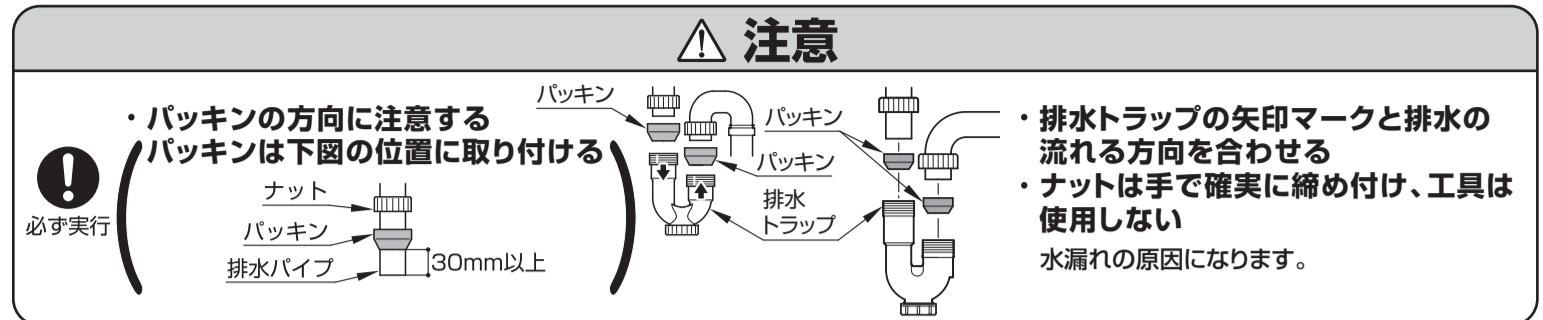
- 取り付けは、水栓ユニットの組立・設置説明書をご参考ください。



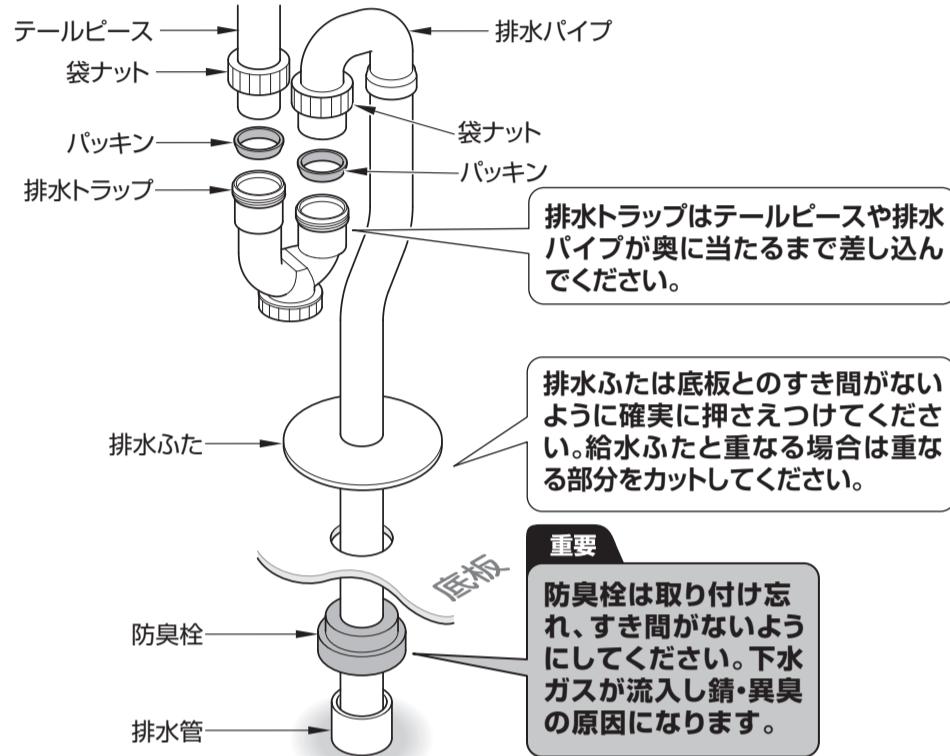
• シャワーホースが水受けトレイに確実におさまっているか確認する

7) 取り付け手順(つづき)

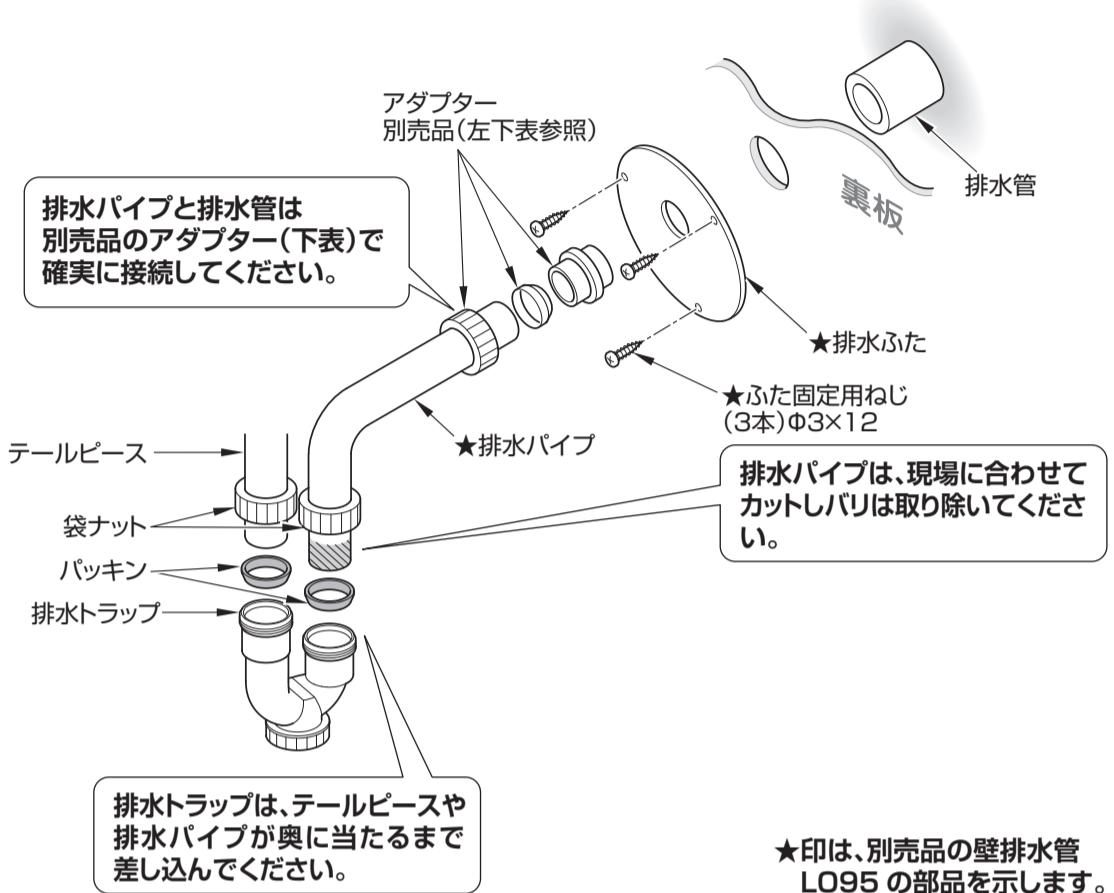
7 排水トラップの取り付け



【床排水の場合】



【壁排水の場合】

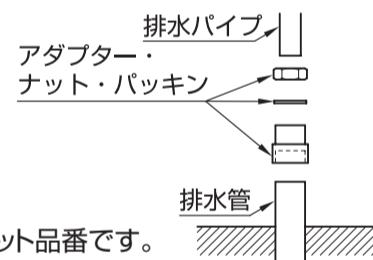


- ・集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプを別売のアダプター(下表)で確実に接合してください。

【アダプター接続の場合】

アダプターの種類	サイズ
T1122R(鋼管用)	R1 ¹ / ₄
T1122J(塩ビ管用)	30用
L048(塩ビ管用)	40用
L049(塩ビ管用)	50用

※上記品番はアダプター・パッキン・ナットのセット品番です。
※T1122Jは排水パイプのカットが必要です。



接着剤は必ず、アダプターと排水管の両方に塗布する
片側のみ塗布した場合、水漏れの原因になります。

必ず実行

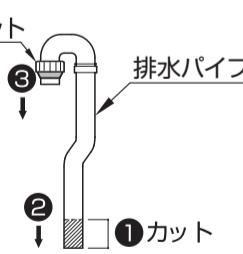
〈T1122J使用時の取り付け手順〉

- 排水パイプを現場に合わせてカットしてください。(右図参照)
- カット側をアダプターに差し込んでください。
- 排水パイプ上部を排水トラップの奥に当たるまで差し込んでください。
- ナットを手で確実に締めてください。

△ 注意



工具は使用しない
水漏れの原因になります。

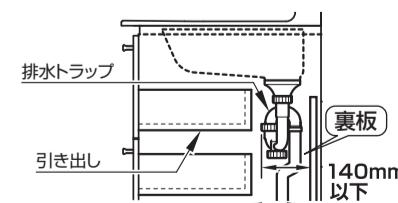


- 排水トラップを設置したあとは、下図の範囲に納まっているか確認をしてください。

△ 注意

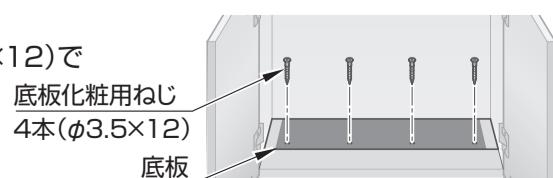


排水トラップを右図の範囲に設置し、
引き出しが当たらないか確認する
水漏れの原因になります。



8 底板の固定

- 底板を底板化粧用ねじ(Φ3.5×12)で固定してください。



8) 壁やトールキャビネットとの処理方法

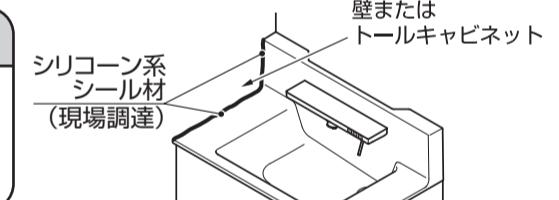
- カウンターと壁またはトールキャビネットの突き合わせ部をシリコーン系シール材でシールしてください。

△ 注意



必ずシールをする

シールをしないと突き合わせ部から水が浸入し、キャビネットや壁・床を傷める場合があります。



9) 取り付け完了後の確認と清掃

※扉・引き出しの傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認し、必ず調整をしてください。化粧台の横が壁などで調整しにくい場合は、引き出しを一旦外してから調整をしてください。

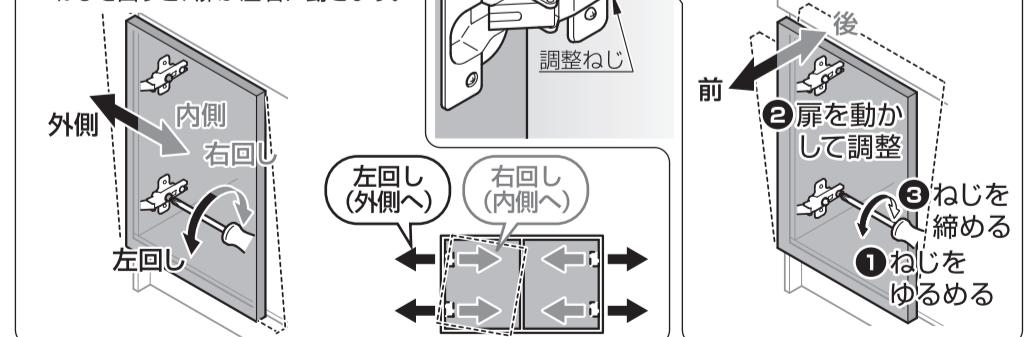
- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。

【調整要領】

〈扉の丁番調整のしかた〉

〈左右のずれ〉

調整ねじで調整する。
※ねじを回すと、扉が左右に動きます。



△ 注意



電動ドライバー禁止

部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。

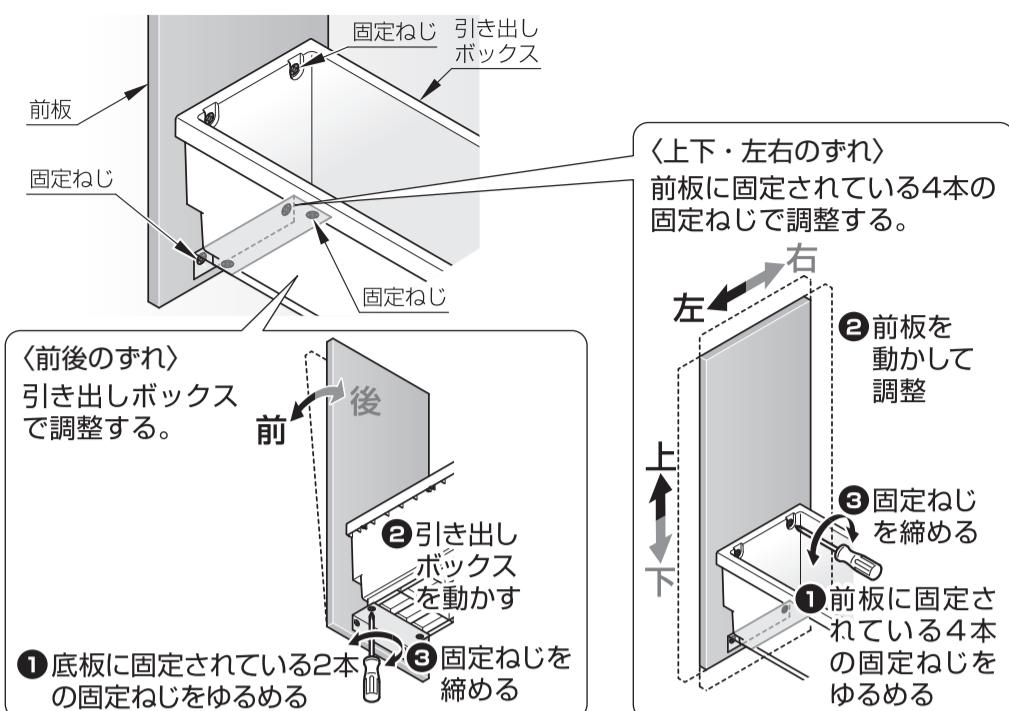
- 調整後、固定ねじをしっかりと締め付けて、ゆるみがないことを確認する



扉が外れて、けがをするおそれがあります。

9) 取り付け完了後の確認と清掃(つづき)

〈片引き出し前板の調整のしかた〉



△ 注意



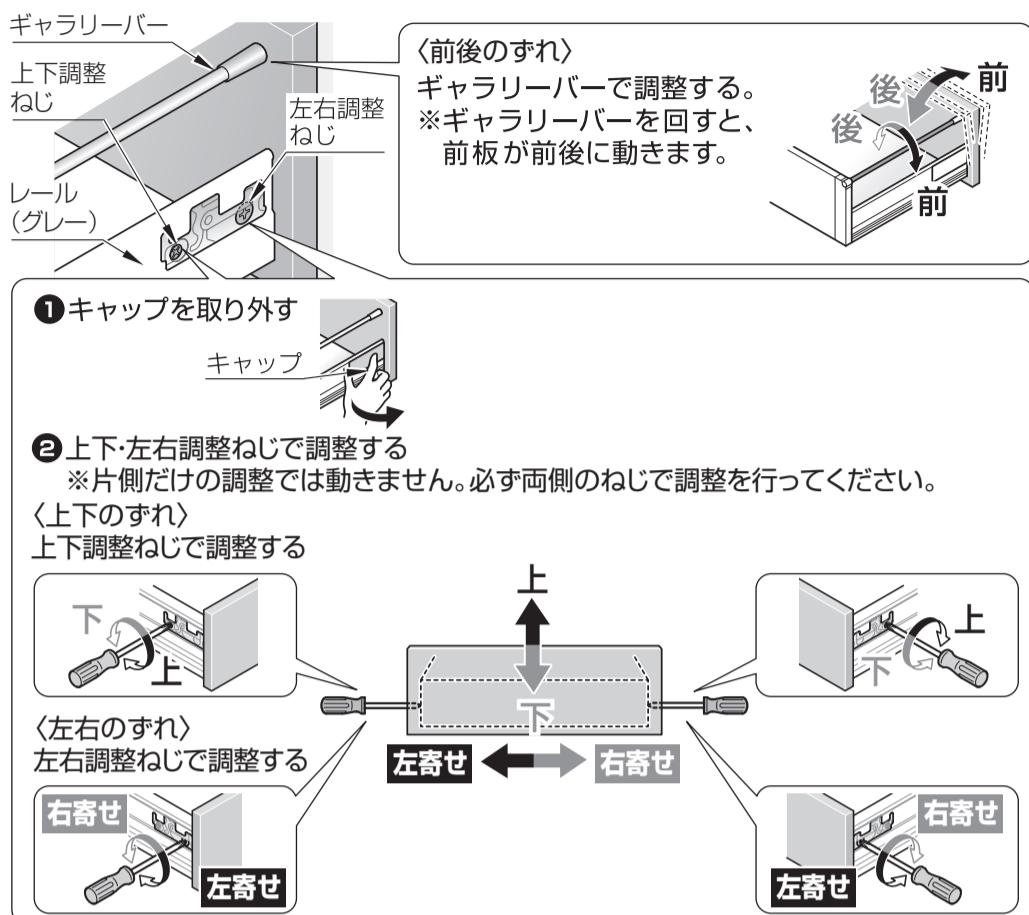
調整後は必ず、固定ねじを締め付ける
引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。

必ず実行

2段引き出し(レール色:グレー)

〈前板の調整のしかた〉

引き出し底板裏面にアングルが付いているので必ずねじをゆるめてください。



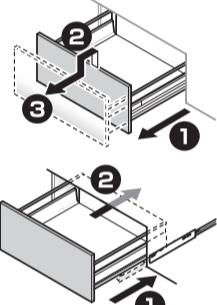
【着脱要領】

〈2段引き出しの取り外しかた〉

- ①引き出しを完全に引き出す
- ②引き出しの手前を少し持ち上げ、引っ張りながら一度下ろす
- ③そのまま引き抜く

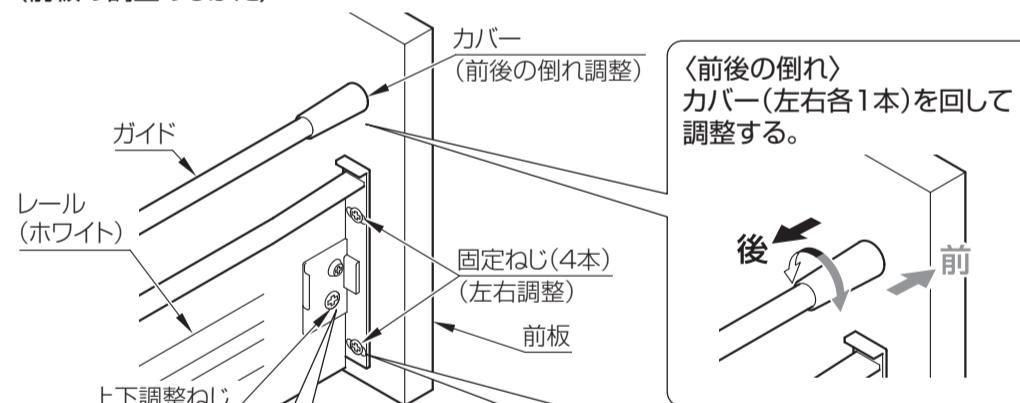
〈2段引き出しの取り付けかた〉

- ①レールを奥まで押し込む
- ②引き出しをレールの上に置き、そのまま押し込む
※「カチャ」と音がして、ロックされます。



2段引き出し(レール色:ホワイト)

〈前板の調整のしかた〉



〈上下のずれ〉
上下調整ねじで、調整する。



※左右・上下の同時調整はしないこと

〈左右のずれ〉
前板に固定されている固定ねじで調整する。
※左右・上下の同時調整はしないこと



△ 注意



ギャラリーバー部分を持たない

ギャラリーバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。



取り付けた後必ず2~3回開閉して確実に取り付けられているか確認する

必ず実行 確実に取り付けられていないと使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。

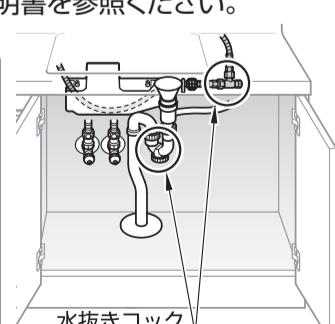
10) 寒冷地タイプの水抜き

- ・寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。
- ・水栓水抜きについては、水栓ユニットに付属の組立・設置説明書を参照ください。

△ 注意

- 必ず実行
- ・凍結のおそれがある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と併せて、次の要領で水抜きをする
お客様にも水抜き方法をご指導ください。

- ・水抜きコックは工具は使用せず手で確実に締め付ける
水漏れの原因になります。



【排水トラップの水抜き】

- ①水受けの容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開けてください。
- ②水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。

